

問題【社会】

近代文化の問題にチャレンジ。次の1～5に答えましょう。

- 1 浮雲を書いたのはだれですか。
- 2 山椒大夫、高瀬舟、舞姫を書いたのはだれですか。
- 3 たけくらべ、にごりえを書いたのはだれですか。
- 4 黄熱病の研究で有名な人はだれですか。
- 5 吾輩は猫である、坊っちゃん、三四郎などを書いたのはだれですか。

豆知識

雑学コラム

I love you の訳は？

今回は近代の文化からの出題です。

二葉亭四迷は、言文一致で有名な人です。それまでの堅苦しい文語体に代わって話し言葉（口語）のまま文章を書きました。今の私たちにとっては当たり前ですが、当時はかなり画期的なことでした。二葉亭四迷というペンネームは「くたばってしまえ！」から来ているといわれています。ちなみに二葉亭四迷は「I love you」を「死んでもいいわ」なんて訳しています。夏目漱石が「I love you」を「月がきれいですね」と訳したというのは本当かあやしい点もあるのですが、これもロマンチックでいいですね。

森鷗外はもともと医者さんの家に生まれました。そして医学の勉強のために、ドイツに留学しています。舞姫は日本人留学生とドイツ人の女性の恋の物語ですが、これは森鷗外の実際の恋が題材になっているともいわれています。130年前に書かれた恋物語です。興味が出た方はぜひ読んでみてください。

樋口一葉は皆さんご存じの5000円札の肖像画の人です。では、今の1000円札は？ そうです、野口英世ですね。この人は黄熱病の研究で有名です。一度は黄熱病の原因を見つけたと思ったのですが、実は違ったことがわかります。野口英世はガーナで黄熱病の研究中に自分も感染してしまい、命を落とします。実は黄熱病の原因は当時の顕微鏡では見つからないくらい小さなものでした。

夏目漱石は、野口英世の前に1000円札の肖像画になっていた人です。作品の「坊っちゃん」は、東京生まれの主人公が愛媛県松山市の学校の先生になり、様々な困難にぶつかりながら正義感を発揮していく物語です。また、「吾輩は猫である」は、ネコの視点から書かれています。当時の様子が少し分かり、なかなか面白いですよ。あ、それと夏目漱石の漢字には注意してくださいね。「漱石」を「瀬石」と書いてバツになった先輩たちがたくさんいますから！

【解答】

- 1・二葉亭四迷、2・森鷗外、3・樋口一葉、4・野口英世、5・夏目漱石